

平成 30 年度南海トラフ地震対策に関する調査票

法人名【社会福祉法人 知的障害者育成会】 事業所名【 多機能事業所 香南くろしお園 】

注) 青字は予定として記載

1. 自宅被害 (津波浸水被害)

※津波浸水地域における被災状況 (高知県防災マップが示す最高水位)

被害状況	最大浸水	入所利用者	通所利用者	職員
被害なし			28 名	11 名
床下浸水	0.5m 以下			6 名
床上浸水	1.0m		15 名	0 名
木造家屋の半数が全壊	2.0m			0 名
木造家屋の殆どが全壊	3.0m			0 名
2 階建ての建物が水没	5.0m 以上			3 名
3 階建ての水没	10m 以上			0 名
合計			43 名	17 名

2. 施設被害

※津波浸水地域における被災状況は (高知県防災マップ参照)

- ① 施設建屋の損壊 (極めて高い ・ 高い ・ 中 ・ 低い)

浸水…敷地内被害無。

建物被害…倒壊の恐れは少ないがガラス飛散等による被害が想定される。

- ② 進入道路等の損壊 (極めて高い ・ 高い ・ 中 ・ 低い)

被害想定：施設は海拔 27m にあり津波災害では非対象区域。施設までの進入道路は 2 方向あり、いずれもハザードマップ上では非土砂災害区域であり道路損壊は考えにくい。

施設より主たる県道までは 400m であり物資供給や通行手段としても必要性は高い。仮に寸断された場合、農道などを活用し迂回する計画。

3. 準備状況 (通所 43 名、職員 17 名を想定)

- ① ライフラインの確保方法 (電気、熱 (ガソリン他)、水) (有) ・ 無

※備品に関しては年度内に開催する福祉避難所の打合せ後に配備計画。

電 気	現備蓄：ガソリン発電機×1 (100v-0.9kw) 懐中電灯 5 台 ※年度内予定 発電機 (ガス?) ランタン 20 台 投光機
燃料	現備蓄：ガソリン 20 ㍓ 公用車ガソリン、作業用混合油 (20 ㍓)
ガス	現備蓄：五徳×2

	ガスボンベ中 2 本 (通常使用用) カセットコンロ×3 カセットボンベ×6
飲料水	現備蓄：ペットボトル 500ml×72 本 (100 人 4 日分) ※10 月予定：飲料用ペットボトル 2L×150 本 (50 名×3 日分) 調理用ペットボトル 2L×40 本 (50 名×3 日分)
生活用水	賞味期限切れのペットボトル水 500ml×72 本

② 非常食糧・医薬品等の保有状況 (主食、副食、医薬品、他) 有 ・ (無)

※法人単位で統一するため平成 30 年 10 月に配備予定 (協議中のため変更になる可能性あり)

食数 50 とするが併用利用者もいるため平均数で、職員に関しては常勤職員にて算出。

主食	ひだまりパン (チョコ 50、プレーン 50) マジックライス (五目飯 50、えびピラフ 50、白飯 150) パンの缶詰 (レーズン 50) 美味しい防災食 (わかめうどん 50)	非常食： 50 人 3 日分
副食	□朝からフルーツミックス 50 □美味しい防災食 (豚汁 50) □野菜一日これ 一本 50 □ほうれん草の味噌汁 50 □LL (すき焼き丼の素 50、ヒートレス カレー 50) □たまごスープ 50 □災害救助用クラッカー 6 箱	
特別食	水量、とろみ処理、刻みにて対応	3 名分
定期薬	通所者：1 名のみ 1 週間分を預かり。他利用者は未整備	
医薬品	通常使用する医薬品のストックを多めにしている	

③ トイレの準備状況

※香南市と福祉避難所に関する打合せ (10 月内) 後に計画化。

ポータブルトイレ 凝固材 排泄用ビニール袋 他

④ 通信手段 (無線機、衛星電話機、安否確認システム、他) 有 ・ (無)

種類・メーカー・電話番号等

衛星電話	無
MCA 無線	無
無線機	無
安否確認システム	無
その他	Twitter 171 災害伝言ダイヤル SMS トランシーバー

⑤ 利用者情報の管理方法 (障害に対する留意事項、服薬含む) (有) ・ 無
紙資料、法人本部へ紙資料保管 (2 重管理保管体制)

⑥ BCP 策定の有無 (利用者の安否確認含む) (有) ・ 無
書面上の策定は済みであるが、実効性のある活用・管理は検討中

⑦ おすすめの備蓄品、整備品 (簡単に理由もご記入下さい)

4. 避難場所

- ・1次避難...施設敷地内（門前スペース）
- ・2次避難...駐車場
- ・3次避難...最寄小学校、役場支所

5. 福祉避難所の指定

- ・受けている
- ・受けていない

①福祉避難所の指定を受けている場合、福祉避難所の開設や運営に関する訓練や取り決めがあればご記入下さい。

当事業所では施設移転に併せ、平成29年度末に香南市と福祉避難所協定を締結しました。

現在、訓練については他福祉避難所が実施するものに参加し、まずは先発施設の取り組みを学ぶといったことから始めています。

備蓄食・備蓄品とも、協定締結後の本年度内に詳細をまとめ配備する計画としています。

備蓄食に関しては平常時の食事提供者（A型事業所：SORA）との連携体制・法人内通所事業所との調整もあり、10月配備していますが遅れているのが現状です。

備品類に関しては10月に予定しています市及び関係機関との協議により「選定・発注」といった流れにあり、基礎となる受入計画（受入人数・場所・運営人数・設備…等）も平行して策定していく方向です。

以上のことから福祉避難所に関する開設運営・訓練などの取り決めには至っていませんが、いずれも年度内マニュアルなども作成し整備していく計画としています。

以上